

乳房専用X線検査(マンモグラフィ)

〈マンモグラフィ検査の特長〉

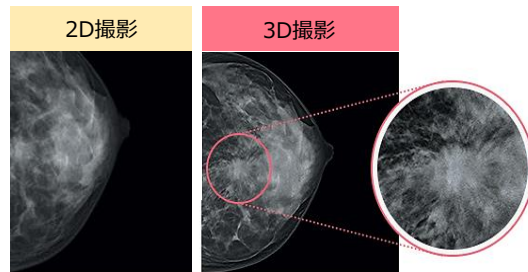
乳房をプラスチックの板で挟んで平たくし（圧迫）し、乳房全体を撮影します。
触診では発見できないしこりや、石灰化のある小さな乳がんの発見に適しています。

2019年には、3Dマンモグラフィ装置を導入し、従来のマンモグラフィよりも、より鮮明な画像診断ができるようになりました。3Dマンモグラフィは、撮影角度を変えて多方向から撮影し、収集したデータを3次的に再構成します。
高濃度乳腺では、乳腺組織も腫瘍も真っ白に写り、正確な画像診断が難しくなるといった課題がありますが、3D撮影を追加すると、画像を1ミリ間隔で確認でき、乳腺が高密度な乳房にも有効な画像診断です。

※ マンモグラフィは、豊胸手術を受けられた方は検査を受けることができません。



多方向から撮影



2Dマンモグラフィとの画像比較

【マンモグラフィ検査】は、 PET-CTがん検診内のレディースがん検診にて受診いただけます

がん検診は、“定期的”に、“継続”した受診が大切です。

検診の結果、精密検査が必要とされた場合は、必ず精密検査を受けましょう。

精密検査では、画像検査（マンモグラフィや超音波検査）や細胞診（がんとの判別が難しい場合にしこりの一部を細い針で採取）、組織診（細胞診で鑑別できなかった場合に専用の針でしこりの組織を採取）を行う場合があります。

マンモグラフィによるがん検診は、死亡率を減少させる効果がありますが、一方で、がんであっても「異常なし」（偽陰性）とされたり、

がんでも「精密検査が必要」（偽陽性）とされたりする場合があります。

わが国では、**女性のがん死亡率の内、乳がんは第4位**★です。

★厚生労働省「2020年人口動態統計（確定数）」

なにか症状がある場合は、検診ではなく、早めに医療機関で診察を受けてください。

医療法人 仁泉会 M I クリニック
〒560-0004
大阪府豊中市少路1-12-13
Tel 06-6840-0100